

事務連絡  
平成25年8月1日

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大で10細胞/ml、下痢性貝毒の原因種であるディノフィシス属が最大で1細胞/ml確認されました。また、ミリオネクタ・ルブラが最大で79細胞/ml確認されました。

海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

調査時間 (9:00-10:30) 採集地点	水深	水温	塩分	溶存酸素	ミリオネクタ・ ルブラ	アレキサンドリウム属 *2	ディノフィシス属 *3
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/l)			
<b>ヒロウラ</b> 別図① 透明度 6.5m	0	28.9	33.1	6.72	9	0	0
	5	28.0	33.6	6.87	79	2	0
	10	26.7	33.6	6.32	0	10	0
<b>ショウジョウバエ</b> 別図② 透明度 9.5m	0	28.9	32.8	6.66	0	0	0
	5	27.7	33.6	6.78	0	0	0
	10	26.7	33.7	6.71	0	2	1
<b>真珠</b> 別図③ 透明度 7.5m	0	29.3	31.9	6.99	0	0	0
	5	28.1	33.5	6.86	0	0	0
	10	26.2	33.6	5.97	0	0	0
<b>宿毛湾中央</b> 別図④ 透明度 11.5m	0	28.6	33.4	6.82	0	0	0
	5	26.8	33.6	6.17	0	0	0
	10	26.1	33.7	5.57	0	0	0

\*1：魚類に対して被害のある種

\*2：麻痺性貝毒の原因種

\*3：下痢性貝毒の原因種

<別図>

